

# 日本鐵鋼協會記事

**理事会** (昭和8年度第12回) 昭和9年2月7日(水)午後5時開會 **出席者** 河村曉君、俵國一君、水谷叔彦君、渡邊三郎君、松下長久、服部漸君、今泉嘉一郎君、香村小録君、鹽田泰介君、**協議事項** 1、事務所移轉を可決し定款第1條中改正を議決せり、2、俵博士記念資金本會へ寄贈に關する件、3、服部賞牌及服部賞金受領者推薦に關する件、4、評議員會に提出すべき案に關する件、5、第19回通常總會並第12回講演大會開催準備に關する件、6、入退會者及會員異動に關する件、(自1月10日至2月7日)

イ、新入會申込者承認數、正會員2名、准會員15名(氏名別記)

ロ、退會者承認 正會員、中島三太、准會員 日野健三郎、今坂啓四、

ハ、死亡者 1名(氏名別記)

7、其他會務に關する重要事項、

**報告事項** 1、會計報告 2、工學會理事長男爵古市公威君 1月28日薨去 3、現在會員數 以上等審議し午後7時30分散會す。

**編輯委員會** (昭和8年度第10回) 昭和9年1月30日(火)午後5時開會 **出席者** 河村會長、俵理事、委員石原善雄君、池田正二君、田中清治君、廣瀬政次君、三島德七君、**協議事項** 1、第12回講演大會並第19回通常總會開催準備委員決定、2、第9回研究部會議事印刷に關する件、3、鐵と鋼第20年第3號上掲原稿選定。

## 鐵と鋼第20年第3號上掲決定論文

1、滿庵の添加による鐵-セメントイト硫化鐵

合金の平衡状態圖の變化 佐藤 知雄

2、オーステナイト不銹鋼に就て 藤原 唯義

3、内外國製高速度鋼の切削試験に就て 福田 健太郎

以上等審議し午後8時散會す。

**服部博士記念資金委員會** 昭和9年2月14日(水)午後5時開會 **出席者** 委員長 河村曉君、幹事 俵國一君、渡邊三郎君、委員 今泉嘉一郎君、服部漸君、吉川晴十君、鹽田泰介君、島岡亮太郎君、**協議事項** 1、服部賞牌並に服部賞金受領候補者審査決定の件、2、昭和8年度資金收支決算並に昭和9年度收支豫算に關する件、以上を審議し次の8氏を推薦し午後8時散會せり。

### 被推薦服部賞牌及服部賞金受領候補者

賞牌 山岡武君、賞金 渡邊直行君、" 加藤孝治君、" 中村道方君、" 永澤清君、" 寺門茂君、" 齋藤新一君、" 砂澤彌平君

**大會準備委員會、並編輯委員會** (昭和8年度第11回)、昭和9年2月20日(火)午後5時開會 **出席者** 河村會長 俵理事 委員 石原善雄君 池田正二君 田中清治君 山田良之助君 三島德七君 鹽澤正一君 **協議事項** 1、大會プログラム編成の件、2、見學に關する件、3、鐵と鋼第20年第4號上掲原稿決定の件、4、其他研究部會等細目に關する件、以上の通りにして午後8時10分散會す。

## 鐵と鋼第20年第4號上掲決定論文

1、石灰窒素に依る鋼の表面硬化 山田良之助

横山均次

江川 朗一

2、二酸化チタンの還元 梅津七藏

3、内部組織研究用の新しきX線管と其應用 篠原軍治

### 評議員會

**開會時日** 昭和9年2月21日(水)午後5時

**場所** 東京市麴町區丸ノ内三丁目二番地三菱21號館127室 日本鐵鋼協會事務所

**出席者** 河村曉君、水谷叔彦君、香村小録君、鹽田泰介君、服部漸君、岩瀬德藏君、井上禧之助君、濱田彪君、林狷之介君、戸村理順君、桂弁三君、金原信泰君、金子恭輔君、横畑治三郎君、黒田泰造君。吉川晴十君、三輪時雄君、島岡亮太郎君、

**協議事項** 1、昭和8年度收支決算に關する件(承認)

2、昭和9年度收支豫算に關する件(可決)

3、次期會長、理事の候補者推薦

4、任期滿了評議員改選候補者推薦。

5、評議員故大石源治君補缺推薦の件。

補缺評議員 金屬材料研究所長事務取扱理學博士石原寅次郎君推薦決定。

6、日本鐵鋼協會定款施行細則改正に關する件、可決第七條第二項として次の項を追加する事。

「定款第十六條ノ理事中ニハ會長ヲ含マザルモノトス」改正理由 會長選舉範圍に關する從來の疑義を一掃するにあり。

7、日本鐵鋼協會定款改正に關する件(總會附議)

8、名譽會員推薦の件(可決確定)

被推薦名譽會員 中井勵作君、野田鶴雄君、

推薦理由 本會定款第6條に依り本邦製鐵鋼業の進歩發達に顯著なる功績あるによる。

9、俵博士記念資金取扱規則制定に關する件(可決確定)

制定規則次記の通り

### 日本鐵鋼協會俵博士記念資金取扱規則

第一條 本會は本規則の定むる處に依り俵博士記念資金寄贈者の申出に係はる次の指定條件を實施するものとす

寄附申込書

一、金五千圓也

元東京帝國大學教授工學博士俵國一氏記念の爲め同博士の門人知友相計り募集致候記念資金の内頭書の金額を俵記念資金の名を以て貴協會に寄附致候間御受納の上は元金を据置之より生ずる利子を以て同博士を永遠に記念するに適當と認めらるゝ事項に付必要なる費用に充つる様御取計相成度此段申込候也

昭和九年一月二十七日 俵工學博士功績記念會委員總代

第二條 本資金は公債其他確實なる債券を購入し之を信託會社に供託し又は銀行に保管を依頼して永久に保存し其利子のみを利用するものとす

第三條 前條の資金より生ずる利子を以て次の事業を行ふものとす

一、日本鐵鋼協會々誌「鐵と鋼」に掲載せられたる論文中前一ケ年の實績を審査し學術上及技術上最も有益なる論文寄稿者各一名に對し毎年一回賞金を贈呈するものとす

第四條 前條の論文審査は本會理事及編輯委員之に當り評議員會の決議を経て候補者を決定するものとす

第五條 賞金贈呈式は原則として毎年一回本會通常總會に於て之を行ふものとす但し場合に依りては贈呈式を略し直に受領者に送金し之を總會に報告する事ある可し

第六條 本賞金は本會の他の賞牌又は賞金に之を加授するを妨げざるものとす

第七條 記念資金の利子に剩餘ある時は之を銀行に預入れて利殖し將來同一事業の資金に充當するものとす

第八條 記念資金の收支は毎年一回之を本會通常總會に報告し日本鐵鋼協會々誌「鐵と鋼」に掲載するものとす

附 則 昭和九年二月二十一日評議員會に於て議定す  
但し本規則の運用は昭和十年一月より之を實行するものとす

10、第 19 回通常總會並に第 12 回講演大會開催に關する件 (可決)

11、其他會務に關する件。

報告事項

1、日本鐵鋼協會事務所移轉に關する件。事務所移轉に關しては定款に據り理事會に於て決定したり從て定款第一條を次の通り變更す。

改正定款 (脚線の部分改正)

第一條 本會ハ日本鐵鋼協會ト稱スル社團法人トシ事務所ヲ東京市麴町區丸之内三丁目二番地三菱二十一號館ニ置ク、但シ必要ニ應ジ支部ヲ設ク其位置ハ評議員會之ヲ定ム。

2、昭和8年度業績報告 2、服部賞牌及賞金受領者推薦報告。以上の通りにして午後8時散會す。

新 入 會 者

居 所 又 は 宛 名 先	勤 務 先、職 業	會 員 別	新 入 會 者 氏 名	紹 介 者
神戸市林田區御藏通四ノ一	合名會社	正	神 戸 鑄 鐵 所 君	芦 原 光 太 郎
芝區二本榎西町(高輪五八一八)	日本パイプ製造會社 常務取締役	正	服 部 一 平 君	大 村 松 太 郎
神田區神保町一丁目五十番地	池貝鐵工所	准	小 林 芳 夫 君	村 松 橋 太 郎
秋田市秋田鐵山専門學校冶金科	學 生	〃	宮 原 順 一 郎 君	志 村 清 次 郎
滿洲國安奉線南坎選鐵工場	工學士 本溪湖煤鐵公司 製鐵科	〃	香 月 秀 男 君	井 門 文 三
本郷區森川町七六岩田方	東京帝大冶金學生	〃	南 誠 之 君	田 中 清 治
川崎市渡田日本鋼管會社内		〃	佐 藤 武 彦 君	高 松 誠
茨城縣助川町日立製作所日立工場		〃	津 川 義 正 君	野 上 熊 二
豐島區日出町一ノ一八〇松下方	早大探冶學生	〃	田 代 泰 三 君	鹽 澤 正 一
横濱市鶴見區潮田町二五四二昭和館内	淺野造船所製鐵部	〃	イ <sup>シ</sup> ト <sup>ヤ</sup> 石 戸 谷 敏 夫 君	志 村 清 次 郎
川崎市渡田二七三〇川崎窯業會社	工 場 長	〃	今 泉 貫 治 君	植 村 巳 熊
埼玉縣川口鑄物工業試驗場		〃	金 井 庄 一 君	村 松 橋 太 郎
八幡市西高槻	八幡製鐵所銑鐵部	〃	芹 田 勇 君	村 松 橋 太 郎
神戸市葺合區脇濱町神戸製鋼所研究室	理 學 士	〃	荒 木 逸 夫 君	伊 丹 榮 一 郎
岩手縣釜石町釜石製鐵所	商 學 士	〃	黒 川 郁 之 助 君	藤 村 哲 之

死 亡 者

正 會 員 金子與四郎君は去る二月十八日逝去されたるは痛惜の至りなり  
茲に謹んで弔意を表す。